

## 分類名 [果樹]

# 1 リンゴ「ふじ」の高品質果実生産のための摘葉時期及びその程度

### 園芸試験場

#### 1) 取り上げた理由

リンゴ「ふじ」で通常の着色管理として行われている葉摘み作業は、果実の着色向上に大きな効果があるが、葉摘みの時期が早すぎたり、程度が強すぎると果実品質や樹体生育に悪影響を及ぼす可能性がある。近年、完熟蜜入りリンゴ「ふじ」が消費者から求められているため、十分に着色し、蜜入りした果実が得られる葉摘みの時期とその程度について成果が得られたので参考資料とする。

#### 2) 参考資料

- (1) 9月13日頃(収穫前60日)の全果そう葉及び果台枝と発育枝の半数の摘葉(半摘葉)は着色、糖度、酸度の低下を招き、実用性に乏しいが、収穫前20日頃からは、樹の半分程度の葉を摘んでも果実品質の低下はない。
- (2) 10月15日頃(収穫前30日)の半摘葉は、着色向上に効果が認められるが、果実品質は酸度、果汁がやや減少し、食味が低下する。収穫前30日(10月15日頃)の全摘葉は、果皮色が鮮やかさを失った赤色(黒っぽい赤)になる。果実品質は糖度、蜜入り程度、果汁量が少なく、食味の低下が大きい。
- (3) 9月15日～10月15日頃(収穫前60～30日)の葉摘み程度は、果実が葉から露出する程度に果そう葉のすべてと果台枝の半分の葉を摘む。収穫前20日頃以降は樹の半分程度の葉を摘んでも果実の着色・蜜入り等は十分で、果実品質の低下はない。

#### 3) 対象地域等

県下一円

#### 4) 特に留意すべき事項

- (1) この成果は暦日を目安としているので、果実の成熟が進んでいる時は成熟促進日数の進みに合わせて葉摘みの時期を調節する。
- (2) 樹勢が極端に衰弱している樹では、葉摘みは行わない。

#### 5) 背景となった主要な試験研究

- (1) 研究機関名及び担当科名 園芸試験場 栽培部 果樹科
- (2) 課題名及び研究期間 果樹の優良品種の選定と栽培法の確立 平成3～9年

(3) 参考データ

表-1 摘葉時期・程度の違いが果実品質に及ぼす影響(平成7年)

処理日 (収穫前)	硬 度 (lb)	糖 度 (Brix)	酸 度 (%)	蜜入り 指 数	着 色 <sup>y</sup> 指 数 (%)
60日 果そう葉 <sup>z</sup>	16.0ab <sup>x</sup>	15.4b	0.42ab	4.3a	65.8ab
果台枝	15.9b	15.5ab	0.42ab	3.8ab	70.6a
半摘葉	17.1a	14.1c	0.37b	1.0c	54.1bc
20日 果そう葉	16.8a	16.6a	0.45a	3.9a	52.7bc
果台枝	16.5a	16.3ab	0.42ab	3.6ab	49.5c
半摘葉	16.3a	16.0ab	0.42ab	2.8b	68.6ab
無摘葉	16.2ab	16.3ab	0.45a	3.5ab	49.6c

<sup>z</sup> 果そう葉：果そう葉全葉を摘葉  
 果台枝：果そう葉全葉と果台枝の半数の葉を摘葉  
 半摘葉：果そう葉全葉，果台枝と発育枝の半数の葉を摘葉  
<sup>y</sup> カラーチャート「ふじ」着色指数5~6の果実数割合  
<sup>x</sup> 異なる英小文字の間には5%水準で有意差あり (Tukeyの方法)

表-2 収穫前30日の摘葉が果実品質に及ぼす影響(平成8年)

処理日 (収穫前)	硬 度 (lb)	糖 度 (Brix)	酸 度 (%)	蜜入り 指 数	水分率 (%)
半摘葉	15.9ns	14.3a <sup>y</sup>	0.39b	2.3a	82.1ab
全摘葉	16.8	13.5b	0.38b	0 b	80.5b
無摘葉	16.0	14.9a	0.46a	3.2a	83.6a

<sup>z</sup> 半摘葉：果そう葉全葉，果台枝と発育枝の半数の葉を摘葉  
 全摘葉：全ての葉を摘葉  
<sup>y</sup> 異なる英小文字の間には5%水準で有意差あり (Tukeyの方法)

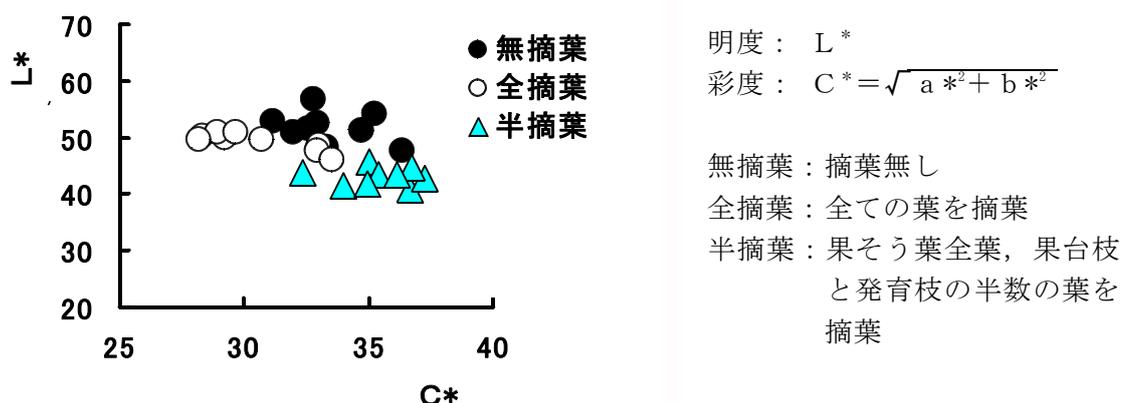


図-1 収穫前30日の摘葉程度と着色の関係 (平成8年)

(4) 発表論文等

発表論文：摘葉時期がリンゴ「ふじ」の樹体生育と果実品質に及ぼす影響  
 園芸学会雑誌，第65巻別冊2号，1996

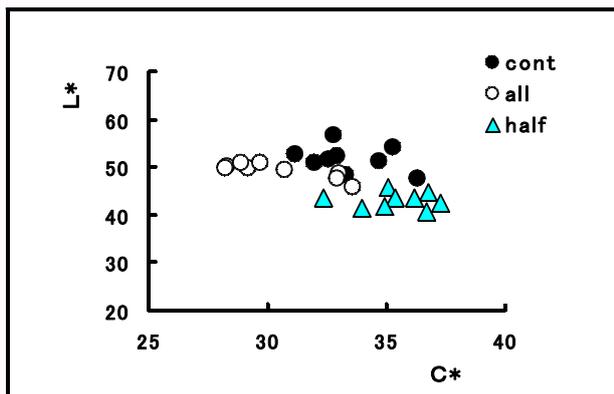


図1 着色程度のL\*とC\*の関係（平成8年） 図2 糖酸比の関係

	花 粉 発芽率 (%)	頂芽花芽率 (%)		腋花芽率 (%)		乾物率 (%)	
		下枝	上枝	下枝	上枝	発育枝	果台枝
半摘葉	75.9ns	42.8ns	39.7ns	0.7ns	1.7ns	50.8a	50.1
全摘葉	76.0	48.6	39.7	2.0	0.0	48.2b	48.1b
対 照	75.6	45.5	54.2	1.0	0.2	50.7a	50.3a

a

<sup>z</sup> 異なる英小文字の間には5%水準で有意差あり (Tukeyの方法)。

